

## 1 担い手の育成と経営力の強化

# 新規就農者の経営安定に向けた支援

対象者 管内新規就農者

管内では、平成 31 年度から令和 5 年度までの 5 年間で 19 名が新規に就農されました。

各市で青年等就農計画の認定を受けた認定新規就農者に対しては、就農計画の目標が達成できるように、関係機関と連携しながら栽培技術や経営管理への支援を行っています。

今年度は、就農 1 年目の認定新規就農者を対象に、個別に普及指導計画に位置付けて重点的に支援するとともに、就農 5 年目までは、個別支援と集合研修を組み合わせ、経営が安定するように支援しました。

### ○就農 1 年目の新規就農者 7 名 ～農業経営の円滑なスタートに向けた支援～

青年等就農計画に基づき、それぞれの目標が達成できるよう、各技術専門が担当となり、以下の活動内容で個別に支援しました。

- ・生育に応じた栽培管理
  - ・観察に基づいた病害虫の診断と管理
  - ・適正な労働配分や作業、技術の改善助言
  - ・研修会等による仲間づくりや相談相手の紹介
- 経営品目は、施設野菜 4 名、露地野菜 1 名、果樹 2 名で、栽培技術の習得による目標収量確保を共通課題とし、さらに就農者それぞれの品目や状況に応じた課題を設定しました。



新規就農者への栽培指導

また、栽培のポイントとなる時期に適切な方法で栽培管理ができているかを定期的に振り返りながら、栽培技術が定着するよう支援しました。

### ○就農 5 年目までの新規就農者 ～早期経営安定に向けた支援～

就農計画の達成状況を振り返りながら、農業者自らが行う経営改善の取組を、以下の活動内容で支援しました。

- ・巡回による栽培管理技術習得
- ・経営管理能力向上に向けた集合研修
- ・サポートチームによる就農計画達成状況確認と収支改善に向けた意見交換
- ・青年農業者クラブへの加入誘導とプロジェクト活動に対する指導



複式簿記の集合研修

認定新規就農者が早期に経営安定するためには、栽培技術の習得・向上だけでなく、決算書に基づいて経営の分析が行えるよう経営能力も養う必要があります。そこで、実践的な複式簿記を習慣づけるため、毎月、簿記研修会を開催し、12 月までに延べ 19 名の参加がありました。今後も、栽培技術の習得、経営力の向上、先輩農家との顔つなぎなど、経営安定に繋がる支援を行っていきます。